

おはよう

社会福祉法人 愛和会
ローズコミュニティ緑地



01 02 トピックス

2023年『あいわの集い』開催報告

03 訪問看護

いつでもあなたのそばに

あいわ訪問看護ステーション

04 訪問介護

住み慣れたご自宅での

自分らしい生活を支援します。

05 開催報告

2023年『地域研修会』開催報告

06 活動報告

あすなろの「リサイクル活動」

07 健康アドバイス

インフルエンザやコロナウイルスに

かからない、うつさない為のポイント





2023年度

あいわの集い開催報告

愛和会開設20周年記念となる今年、「ありがとう20年 未来につながる地域と共に」を合言葉として幾度も打ち合わせを重ね準備をして参りました。

開催前日にオープニングセレモニーの演目が変更になる波乱がありました。が、社会福祉法人育夢の「てんてこまい座のちんどん」さんに、急遽ご出演いただき華やかに開始することができました。



地域研修会は、豊中市社会福祉協議会の勝部麗子先生がご登壇され「ひとりぼっちをつくらなく 全ての人に居場所と役割を」120名を超える方々に豊中市の現状・取り組み・愛和会との連携など力強く、また楽しくご講演して下さいました。



シンガーソングライター Tatsuyaさんは2回のライブ、カラオケバトルに登場して下さりライブでは澄み渡る美しい歌声で聴くみなさんを魅了しカラオケバトルでは、地域の子どもから年代問わず多数の参加者と熱戦を繰り広げ、童謡から演歌までさすがの歌声で楽しませて下さいました。

飲食コーナーでは、障がい部署で製麺しているあすなろうどんを使用した坦々うどんや、ベトナム人技能実習生が作るベトナム料理(フォー)やたこ焼きなど、計10種類のメニューを販売させて頂いていただきました。

イベントコーナーでは、今ではおなじみとなった移動動物園の規模を拡大しニワトリ、小型犬やアヒルなど10種類の動物がやってきました。その他にもお菓子釣り、ストラックアウト、わにわにパニック、プラ板製作など世代を問わず楽しめるものを用意し、どのブースも行列ができるほどの盛況ぶりでした。

子供たちが笑顔で取り組む姿や景品を楽しそうに選ぶ姿がとても印象的でした。

その他では、阪神タイガーズグッズ販売、阪急スイーツ販売、宝塚こむの事業所の新鮮野菜販売や赤い羽根共同募金の皆様や豊中市からはまちかねポイントや包括との共同で様々な健康測定などお手伝いいただき大変お世話になりました。

バザーでは地域の方々のご厚意、また職員から募ったたくさんのバザー品をご用意することができました。今年も目玉商品を含め売れ行きは好調で毎年恒例の企画となりました。

今年度の屋台とバザーを含めた売り上げは30万1200円で、これらの収益は全て地域での活動に寄付させていただきます。

開催にあたり至らぬ点もありがとうございました。ご迷惑をおかけしたこともあったかと思えます。多くの方から「職員のみなさんいきいきしていますね」「楽しかったです」「来年もまた来ます」と笑顔でお声がけを頂き、職員一同、幸せな時間を過ごすことができました。

愛和会は地域の皆様と共に歩んでいきたいと思えます。当日ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。



地域の方への寄付の様子

執筆者

あいわの集い実行委員長 菅江 雅行



いつでもあなたのそばに

あいわ訪問看護ステーション

病気や障がいがあっても、住み慣れたわが家で暮らすために
安心を支える訪問看護サービスを提供しています。

- ・病状、障がいの観察
- ・療養生活上の必要な看護援助
- ・〈清潔のケア〉清拭、洗髪などによる清潔の保持など
- ・〈日常生活のケア〉食事や排泄のケアなど
- ・ご家族への支援
- ・療養環境の整備、療養生活の相談や助言、療養生活や介護方法の指導
- ・在宅でのリハビリテーション
- ・ターミナルケア、認知症利用者の看護
- ・カテーテルなどの管理
- ・その他 医師の指示による医療処置

緊急時などに備え24時間連絡体制をとり、予定の訪問日以外でも電話で状況を伺い、必要に応じて訪問を行っています。

リハビリ専門職（理学療法士、作業療法士）による訪問では、生活する上で必要な動作・心身の機能の維持や向上に必要な運動を、ご自宅の環境に応じて行っています。

また、利用者様とご家族が、快適で安心な在宅療養を継続できるように、訪問介護と密に連携し、「定期巡回・随時対応サービス」に取り組んでいます。

まずは、お気軽にお問合せください。





住み慣れたご自宅での
自分らしい生活を支援します。

訪問介護ステーションあいわ

サービスの大きな目的は「自立支援」です。支援を必要とする人の自己選択・自己決定を重視しご本人の気持ちを尊重して、自分が選んだ方法で支援されるべきという考えです。ご本人のできることは続けていただき、できない部分のお手伝いを行います。ご自宅での生活が、末永く自分らしくあり続けていただけることを最優先に考え受けていただけるサービスです。サービス内容は、訪問介護員などがご自宅に直接訪問して入浴・排せつ・食事等の介助を行う「身体介護」と調理・洗濯・掃除等の家事といった「生活援助」となります。自立支援が目的ですから訪問介護



員と共に買い物や調理などを行うこともできます。利用ができる対象者は、要支援1・2の方、要介護認定1〜5の方となります。

訪問介護ステーションあいわの現在利用中のご利用者の声を聞いてみると「歩き辛くなり自分で買い物や外出をあきらめていたが、車いすを押してサポートしてくれた。ほんとにありがたい。」「掃除はしたいが立っていることが不安定。一緒に掃除をしてもらえて自分のできることも継続できるのがうれしい。」「ご家族の声では「離れて暮らしているので親の様子は気にならなかなか会いに行けない。できないところを助けてもらい、離れていても安心できる。」と喜んでいただいています。

●定期巡回随時対応型訪問介護・看護

要介護1〜要介護5の方が介護と看護を一体的に利用でき、24時

間365日対応の安心できるサービスです。

●障がい福祉サービス

日常生活を営む上で介護の必要な方に自宅で入浴や排泄・食事等の介護・調理や洗濯・掃除等の家事として生活等に関する相談や助言など必要な援助を提供するサービスです。64歳までの方が対象となります。

●子育て世帯支援事業

子どもの養育に係る支援が特に必要と認められるご家庭に対して、ヘルパーを派遣し買い物や掃除等の家事支援を実施することで、ご家庭における適切な養育の実施を確保することを目的としています。家事・育児に対して不安や負担を抱える子育て家庭、養育上の問題を抱えている家庭等がある家庭の自宅を訪問し、家事・育児における必要な支援を行います。例えば、買い物代行・掃除・洗濯・食事作り・保育園の送迎などをお手伝いします。(サービスの相談窓口は豊中市です)

ご自宅での自分らしい生活の手助けができれば私たちもとてもうれしく思います。

ご相談がありましたらいつでもお声掛けください。お待ちしております。

執筆者 訪問介護ステーションあいわ 主任 長尾 敏



2023年度 地域研修会開催報告



11月19日(日)今年度第2回目の地域研修会が開催されました。

今年度は愛和会創立20周年ということ、原点である社会福祉について知っていただきたいと思ひ、地域貢献事業で連携を取らせていただいている豊中市社会福祉協議会事務局長の勝部麗子先生をお招きし「ひとりぼっちをつくら

ない」すべての人に居場所と役割を」というテーマでご講演いただきました。

不登校支援の一環である壁面アートの作成によって6年ぶりに外出ができた子ども、定年後の男性による農園づくり、その作物によって作られたお弁当による配食サービスや収穫体験に向かう子どもたちなど支援を受けた人が別の方の支援をする「ありがとう」の連鎖にとっても気持ちがあたたかくなりました。

執筆者 地域研修委員会

今村 英里

性別、年齢、国籍、障害の有無に関係なく様々な方の悩みに寄り添い活動される先生のお話はとても感慨深く社会福祉に携わる職員として初心に帰る思いでした。

参加された方の中には「今日来ることができなかった友達にも聞かせてあげたい」と追加の資料を求められる方もいました。

今回、120名以上の方に参加していただくことができ、アンケートでは8割以上の方から「大変よかった」「また参加したい」と大盛況な会となりました。

今後も地域の皆様に寄り添ったサポートができるよう地域研修委員会として取り組んでいきたいと思います。



リサイクル活動

「あすなるの活動報告」

2023年5月8日より、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となりました。コロナ禍では実施できなかつたり、自粛していた活動が徐々にですが実施できるようになってきました。ボランティアさんの受け入れ、敷地外散策、カラオケ等、ご利用様が大好きな活動が行えるようになり、笑顔も増えたように感じます。

今回、報告させて頂く内容は「リサイクル活動」です。この活動もコロナ禍が終わり、実施できるようになった活動の一つです。あすなるの職員が自宅や職場で飲み終わったペットボトルを施設に持ってきて、そのペットボトルを近隣のスーパーへご利用者様数名と職員で持って行きます。緑道を通り、季節を感じながら皆で楽しく散歩気分で行っており、良い運動にもなっています。

これからも、利用者様が楽しく、笑顔で参加できるような活動を提供するとともに、感染防止対策も十分に行い、安心して過ごせるようにしたいと思います。



執筆者

あすなる(生活介護) 主任 仲和成



今年も夏の猛暑に続き、11月になっても25℃を超えるような真夏日となる等、体が戸惑ってしまうような気候でした。本来冬に流行するインフルエンザウイルスが冬前から猛威を振るい、学校では学級・学年閉鎖もみられました。

昨年まではコロナウイルス感染症の影響でインフルエンザの流行が低調であったこと、ウイルスに対する抗体の保有割合が全年齢で低下傾向にあること等からインフルエンザが流行しやすい状況にあるようです。

また、コロナウイルスも5類になったとはいえ、消えてなくなっていない為、一定数の感染者は認められているのが現状です。年末年始には、感染者が増加することも考えられます。

皆さま、インフルエンザウイルスのワクチンは接種されましたか？

インフルエンザ、コロナウイルスにかからない、うつさない為のポイントを再確認しましょう！



Point

1. ワクチンを接種しましょう。
2. 十分な手洗い、手指消毒をしましょう。
3. 適度な湿度を保つようにしましょう。
4. 十分な休養と、バランスのとれた食事摂取を心がけて、免疫力をあげましょう。
5. 体調が悪い時は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。無理をせず休息をとることが大切です。
6. 外出する際、特に人混みでは、不織布製のマスクを着用するようにしましょう。
7. 寒くても室内のこまめな換気を行きましょう。

執筆者 特別養護老人ホーム豊中あいわ苑 看護科長 田口敬代